

漆芸の 《チーム日本》 東京2020 によせて

2021年
7月10日(土)
↓
8月29日(日)
※会期中無休

主催・会場 石川県輪島漆芸美術館 展示室1・2
開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
入館料 一般 630円(520円)
一 般 320円(210円)
高大学生 150円(100円)
小中学生 150円(100円)
()内は20人以上の団体料金
同時開催 展示室3「ミヤンマーの漆芸」
展示室4「輪島塗の歴史と文化」

作品左上から
佐藤貞一・松井松濤《花吹雪蒔絵雪吹》
20世紀前半／小西茂助《昔話沈金九
つ組杯・杯台》1876年／前大峰《雄子
図沈金衝立》20世紀／辻光典《風神
雷神》1952年／伊藤裕司《赤富士》
2015年(いずれも部分・石川県輪島
漆芸美術館蔵)



石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
<https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>

石川県輪島漆芸美術館

主催・会場

※会期中無休

2021年
7月10日(土)
↓
8月29日(日)

漆芸の 《チーム日本》 東京2020 によせて

東京オリンピック・パラリンピックを目指して情熱を燃やしてきた我が国のアスリートたち。その姿に敬意を込めて漆芸の世界からエールを送ります。
本展覧会では、富士山や桜など、日本を象徴する様々な文様が描かれた作品の数々を展示します。漆芸の《チーム日本》による美の競演をお楽しみください。



【作品左上から】板谷光治《沈金漆箱「春」》1993年／番浦省吾《陽文盛器》20世紀後半／竹園自耕《日本橋蒔絵扇面形飾板》1967年頃／三谷吾一《翔》1994年／《黄漆塗桜鳥沈黒五段重・重台》1859年／迎田秋悦《撫子香合》20世前半（いずれも石川県輪島漆芸美術館蔵）

WAJIMA MUSEUM OF URUSHI ART 石川県輪島漆芸美術館

〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅 11番地
TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789
URL <https://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/>



■交通案内 飛行機：羽田空港→約60分→のと里山空港→車→約20分→漆芸美術館

車：金沢市内→のと里山海道利用→約100分→漆芸美術館
〈自家用車・大型バス駐車場有(無料)〉

バス：金沢駅→北鉄奥能登バス輪島特急→約120分→道の駅・輪島ふらっと訪夢
〔輪島駅前〕下車

乗換え→のらんげバス 海コース→約10分→漆芸美術館 下車

徒歩：道の駅・輪島ふらっと訪夢〔輪島駅前〕→約15分→漆芸美術館

次回展覧会
石川県輪島漆芸美術館 開館30周年記念特別展
「メイド・イン・ワジマ―漆の時代―」
9月5日(日)～10月24日(日)



本券1枚につき8名様まで
団体料金で入館できます。
割引券